



皆さんこんにちは。石崎会長さん、温かなご紹介をありがとうございました。そして南砺の皆さん、本日は公式訪問にまいりました。よろしくお願いします。

まず、岡部バストガバナー、特にRLIでは本当にお世話になりまして、「小山さん、小山さん」といつも笑顔で関わっていただきました。バストガバナーから教わったことを少しでも恩返しできればと思っています。

今回は川合さんに次年度のガバナー補佐をお受けいただきました。魚住ガバナー補佐さんも今日が結びで同行してくださいませ。後ろの山本さん、副幹事ですが小松ロータリークラブさんから来ており、明後日の公式訪問で残り3つの訪問が完了します。本当に皆さんのおかげです。皆さんの心に少しでも今日のお話が残ればと思います。

まずご紹介したいのはフランチェスコ・アレツツォさん。実はマリオ・セザール・マルチンス・デ・カマルモさんがRI会長になる予定でしたが、辞任され急遽アレツツォさんが会長になりました。世界大会では日本人朝食会でご夫妻と写真を撮らせていただきました。アレツツォさんはイタリアの歯科医で30年以上の会員です。「よいことのために手を取りあおう」というユナイト・フォー・グッドは継承すると言われました。

ロータリーの最大の財産は会員です。皆さん一人一人がクラブの雰囲気を作り出しており、維持増強が大切です。かつては拡大増強という言葉もありましたが、現在は会員減少の中で維持増強に重点が置かれています。

まず革新として、2610地区に衛星クラブができました。小矢部みらい衛星クラブや高岡北ルミナス衛星クラブです。惑星に衛星が回るイメージで、8人からクラブを作れ、例会は月1回程度、年会費5〜10万円です。元クラブの決意がないと活動はできませんが、新しい会員の受け皿としても機能します。

次に継続性。石崎会長は会長幹事会に皆さんを参加させてくださっています。時代が変わり、1年単位ではなく、継続性を意識したクラブ運営が必要です。

三つ目はパートナーシップです。ロータリーだけではできないことも、地域の皆さんや学校、商工会と手を携えて進めてきました。ポリオ根絶や国際青少年交換も同様です。大切なのは自分自身の中での学びを地域や職場に返すことです。オミナエシの植栽の活動など、持続可能な良い変化を作り出す活動をロータリーが仕組むことが重要です。

クラブの成長やロータリアンの成長に必要な要素は、継続性、帰属意識、そしてクラブでしかできない体験です。例えば鮎のつかみ取りやオミナエシの植栽など、地域に根差した独自の活動です。目標は3年間で設定することで、会員や地域に定着させることが可能になります。地域適応力やパートナーシップ、DEI（多様性・公平・包摂）も重要です。身近な多様性とは、職業、年代、性別、ロータリー歴、参加度などです。異なる価値観や摩擦から新しいものが生まれる歴史があります。公平さとは「誰もが笑顔でクラブを楽しむ」ことであり、居心地の良さ＝インクルージョンは自分から関わるのが大切です。おでんの具材に例えると、会員一人一人が個性を持ち、互に関わり合って良い味を生み出す。新しい会員が入ると新しい味が加わり、クラブがさらに魅力的になります。

現在の国際青少年交換の世代（Z世代）はデジタルネイティブで、多様性を理解し個性を大事にします。日本語スピーチコンテストや奨学生の活動を通じて、皆さんが関わることで心が耕され、次世代リーダーが育っています。ロータリーは個人を活かすクラ

ブ運営が大切で、傾聴を通じて仲間を広げることができます。

クラブ運営の改善も重要です。例会の回数や形式の工夫、クラブ合同計画推進リーダーの設置、7つの重点指標の入力など、世界的な方向性を把握しつつ、クラブを楽しみ活性化させることが目的です。

DEIを日常に置き換えると、職業や年代の多様性を尊重し、入会希望者や新会員への配慮が重要です。南砺ロータリークラブにはその雰囲気が充満していると感じました。

被災地支援も継続しています。14クラブに支援金を支給し、免除申請も進めています。羽咋クラブや輪島クラブでは会員増もあり、被災地でも活動を続ける姿勢に感謝しています。地区の補助金や寄付を活用したプロジェクトも継続中です。ポリオ根絶活動も進んでおり、2610地区では30ドルの寄付にご協力いただいています。チャリティランチや募金活動など、工夫しながら支援を継続しています。

最後に、皆さんの参加と行動が居心地の良いクラブを作ります。今年度は「参加と行動」をテーマに掲げています。3年間の目標として、誰もが笑顔で居心地の良いクラブづくり、会員維持増強、リーダー育成を進めていきたいと思っています。地区大会でもぜひご参加ください。

特別講話予定だった千玄室大宗匠は旅立たれましたが、北さんが代わりにお話ししてくださいませ。その他、小松市の講師や常磐貴子さんも能登での復興支援や活動についてお話しくださいませ。

本日は南砺ロータリークラブにお招きいただき、石崎会長をはじめ皆さんに感謝申し上げます。

今年一年が素晴らしい年度になりますよう、ご祈念申し上げます。ありがとうございました。

第2610地区の概要		
■会員数		
① 総会員数	⑥ 入会3年未満割合	② 男性会員数
2,489名	21% うち女性会員10%	2,303名
③ 女性会員数	④ 女性会員最高割合	⑤ 女性会員0クラブ
186名 全体の7.5%	47%	10クラブ

能登半島地震および豪雨災害の復旧・復興支援	
1	被災14クラブへの支援金継続
2	被災14クラブRI人頭分担金免除申請継続
3	希望の奨励学金制度継続 89名
4	14クラブ退会防止 現状維持 10名増強クラブあり

3年間の地区目標 「だれもが 笑顔で いここの良いクラブ」	
☐	会員の維持増強につながる
☐	支援活動の輪が広がる
☐	クラブが活性化する＝強いクラブ
☐	ロータリーのイメージがアップする
☐	リーダーの育成が促進される

（今回の会報担当：藤井一哉／AIによる要約）